



## 歯車加工機、歯車使用アプリケーションの市場を調査

—2025年市場予測（2021年比）—

●ギヤスカイビング加工機の国内市場 84億円（2.3倍）

・・・ロボット用減速機用歯車加工などでの活用が期待され市場拡大

●EV用変速機の世界市場 28億円（40.0%増）

・・・モーターの消費電力抑制、トルク確保でニーズ高まる

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋 社長 清口 正夫 03-3241-3470）は、従来の製品と比べて高速かつ高精度な加工が可能なギヤスカイビング加工機などの需要増加が注目される歯車加工機市場と歯車の需要先となるアプリケーション市場の動向を調査した。その結果を「[次世代歯車加工プロセスにおける工作機械・アプリケーション市場の変化に関する考察](#)」にまとめた。

この調査では、ギヤスカイビング加工機などの歯車加工機6品目の国内市場と歯車の需要先となるEV用変速機などのアプリケーション4品目の世界市場を分析し、今後を予想した。

<注目市場>

●ギヤスカイビング加工機の国内市場

2022年見込	2021年比	2025年予測	2021年比
42億円	116.7%	84億円	2.3倍

歯車創成法の一つであり、ワークの軸と工具の軸を交差させ、同期回転することで溝をそぎ落とす（Skive）ように歯車を作り出すスカイビング加工を行う工作機械を対象とする。

制御技術の発達により同期回転など従来の課題が解決されたことで注目され、2013年頃から製品投入が活発化してきた。現状、自動車部品などの需要が中心である。

今後、EV化における歯車需要の変化に柔軟に対応ができることや、製造業における自動化推進で注目されるロボット用減速機での歯車需要増加により、2025年の市場は2021年比2.3倍の84億円が予測される。また、工程集約や少量多品種生産のニーズに伴い、マシニングセンタの機能を加えた複合加工機の活用も期待される。

●EV用変速機の世界市場【アプリケーション】

2022年見込	2021年比	2025年予測	2021年比
24億円	120.0%	28億円	140.0%

EVに搭載される、回転数やトルクを変化させるために搭載される変速機（トランスミッション）を対象とする。

2021年時点で、変速機が搭載されているのは、欧州メーカーが販売する一部の車種のみである。

EVに変速機を搭載するメリットは、バッテリー消費の激しい高速度で効率の良い出力を確保し、消費電力を抑え航続距離を延長することができる点であり、バッテリーやモーターの小型化といったEVが抱える課題に対する一つの解決策になる可能性がある。

EV用モーターの小型化ニーズが高まる中で発進時や加速時に必要なトルクを確保するため、変速機の搭載が期待されており、特に大型車や高級車での採用が進むことで、2025年の市場は2021年比40.0%増の28億円が予測される。

<調査対象>

工作機械		
・ホブ盤	・歯車形削り盤（ギヤシェーパ）	・歯車研削盤
・マシニングセンタ	・ターニングセンタ	・ギヤスカイビング加工機
注目アプリケーション		
・EV用モーター	・EV用変速機	・AGV
・精密制御減速機（ロボット用）		

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2022年2月～3月

以上

資料タイトル :	<a href="#">「次世代歯車加工プロセスにおける工作機械・アプリケーション市場の変化に関する考察」</a>	
体裁 :	A4判 49頁	
価格 :	PDF版 330,000円（税抜300,000円） ネットワークパッケージ版 495,000円（税抜450,000円）	
発行所 :	株式会社 富士経済 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目9番1号 日本橋三丁目スクエア TEL : 03-3241-3470（代） FAX : 03-3241-3471 URL : <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a> e-mail : info@fuji-keizai.co.jp	
調査・編集 :	インダストリアルソリューション事業部	
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL : <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/press/">https://www.fuji-keizai.co.jp/press/</a>		